

第 29 回 苫小牧フットサル総合選手権大会 U-12 の部予選 開催要項

1. 主 旨 日頃の練習成果を競い、より高度なフットサル技術のレベル向上を目指す。また、フットサルを通じて、各チームとふれあいを深めるとともにフットサルの楽しさを味わい、小学生年代の健全な心身の発育・発達を図る。
2. 主 催 苫小牧地区サッカー協会
3. 主 管 苫小牧地区サッカー協会第4種委員会
4. 期 日 2018年12月15日(土)、16日(日)
5. 会 場 市内小学校体育館、他

6. 参加資格

(1) フットサルチームの場合

- ①公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
- ②前項のチームに所属する2006年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
- ③外国籍選手は1チームあたり3名までとする。

(2) サッカーチームの場合

- ①公益財団法人日本サッカー協会に「4種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
- ②前項のチームに所属する2006年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
- ③外国籍選手は1チームあたり4名までとする。

- (3) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。

7. 競技規則

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。ただし、以下の項目については、本大会の規定を定める。

(1) ピッチ

- ・大きさ：サイズは原則として、32m×16m
- ・センターサークル：半径2.5m
- ・ペナルティーエリア四分円の半径：5m
- ・ペナルティーマーク：5m
- ・第2ペナルティーマーク：8m
- ・交代ゾーンの長さ：4m
- ・タイムキーパーの机の前のエリア：ハーフウェーラインの両端からそれぞれ4m

(2) 守備側競技者のボール等から離れる距離

- ・フリーキック：4m
- ・コーナーキック：4m
- ・キックイン：4m

- (3) 使用球は、フットサル3号球ボールとする。
- (4) 競技者の数
 - ・ 競技者の数：5名
 - ・ 交代要員の数：10名以内
 - ・ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内
- (5) ベンチに入ることのできる人数は14名以内（交代要員10名、役員4名以内）とする。
- (6) 試合時間
 - ① 試合時間は20分間（前後半各10分間）のランニングタイムとする。
 - ② ハーフタイムのインターバルは3分間とする。
- (7) 試合の勝者を決定する方法（競技時間内で勝者が決しない場合）
 - ① 引分けとする。
- (8) タイムアウトは適用しない。

8. 競技方法

- (1) 1グループ3～4チームとして、7グループでリーグ戦（総当り戦）を行う。
- (2) 各グループ1位の7チームと4チームブロックの2位チーム中最高成績のチーム（ワイルドカード）1チームが本大会（決勝トーナメント）に進出する。
- (3) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (4) リーグ戦における順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ① 当該チーム間の対戦成績
 - ② 当該チーム間の得失点差
 - ③ 当該チーム間の総得点数
 - ④ グループ内の総得失点差
 - ⑤ グループ内の総得点数
 - ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告1回1ポイント
 - (イ) 警告2回による退場1回3ポイント
 - (ウ) 退場1回3ポイント
 - (エ) 警告1回に続く退場1回4ポイント
 - ⑦ PK戦
- (5) ワイルドカードの進出チーム決定方法は、以下の項目に従い順位を決定する。
 - ① グループ内の勝点合計
 - ② グループ内の総得失点差
 - ⑤ グループ内の総得点数
 - ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告1回1ポイント
 - (イ) 警告2回による退場1回3ポイント
 - (ウ) 退場1回3ポイント
 - (エ) 警告1回に続く退場1回4ポイント
 - ⑦ PK戦

9. 懲 罰

- (1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (2) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (3) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。(第29回苫小牧フットサル総合選手権大会 U-12の部決勝トーナメント進出チームはこの大会で行うこと)。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (4) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の規律委員会が決定する。

1 0. 組合せ 組合せは苫小牧地区サッカー協会第4種委員会代表者会議において抽選し決定する。

1 1. 帯同審判

- (1) 帯同審判制とし、帯同審判員のいないチームの参加は認めない。
- (2) 参加チームは、公認審判員(フットサル4級以上)を1チームにつき、1名以上を必ず帯同させることとし、その氏名を参加申込書に記載すること。
- (3) 帯同審判員の重複申込(同一人物)は認めない。
- (4) 帯同審判員は、役員と兼ねることができる。
- (5) 帯同審判員は、大会終了までその業務にあたらせるものとする。

1 2. 競技者の用具

- (1) ユニフォーム
 - ①フィールドプレイヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を各試合に必ず携行すること。
 - ②チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - ③フィールドプレイヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
 - ④シャツの前面、背面に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - ⑤選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。フィールドプレイヤーは1番を付けることができない。必ず、登録された選手固有の番号を付けること。
 - ⑥ユニフォームへの広告表示については、(公財)北海道サッカー協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
 - ⑦その他のユニフォームに関する事項については、(公財)日本サッカー協会の「ユニフォーム規程」に則る。
- (2) 靴
靴底は接地面が飴色、白色もしくは無色透明のフットサル用シューズのみ使用可能とする。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない)。
- (3) ビブス
交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

1 3. 監督会議 監督会議は開催しない。

1 4. 開会式 開会式は開催しない。

15. 表彰及び表彰式 本予選は決勝大会進出チーム決定のため実施されるので、表彰はしない。

16. 負傷及び事故の責任

- (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行なうこととする。
- (2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。

17. その他

- (1) マッチコーディネーションミーティング（以下、「マネミ」という）。
各試合競技開始時間の30分前に、両チームのスタッフ及び審判員とマネミを行う。なお、マネミにおいて両チームのユニフォームの決定、メンバー提出用紙の回収、電子選手証等の確認、諸注意事項の説明等を行う。
- (2) 電子選手証等 各チームの登録選手は、（公財）日本サッカー協会発行のフットサル電子登録証の写し（写真が登録されたもの）または選手証（写真が貼付されたもの）を、監督会議及び試合会場に持参すること。いずれかが確認できない選手は、試合の出場を認めない場合がある。
- (3) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
- (4) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (5) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいて摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- (6) 選手の保護者・関係者のマナー遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内での全ての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるゴミ）については、チーム責任とする。
- (7) 代表チームには、本大会の参加を義務付ける。
- (8) 決勝トーナメントに関する事項は、苫小牧地区サッカー協会が別途大会要項を定めるので、そちらを遵守すること。